

TOTO

静音ワンピース便器（リモデル）

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
--	--	--	---

注意	
	禁止 陶器に強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などぬらす財産損害発生のおそれがあります。 給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 水が噴き出します。
	必ず実行 設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。 設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

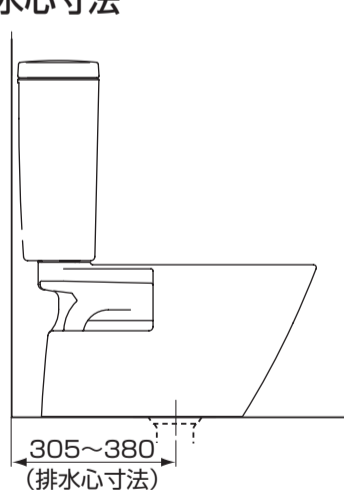
※部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器本体	排水アジャスター	Pシール	止水栓
(1個)	便器接続部 (1個) (ゴムジョイント付き)	金属フランジ用 (1個) 樹脂フランジ用 (1個)	(1個)
タンクふた	横引管 (1個)	その他	
(1個)	床フランジ接続部 (1個)	本紙	
	Tボルト (2本)	施工説明書 (1枚)	
	ワッシャー (2枚)	取扱説明書 (1冊)	位置決めシート (1枚)
	ナット (2個)		
固定片・固定金具類			
<固定片A用> 固定片A (2個) 木ねじ (φ6×50: 4本) ワッシャー (4枚)		<固定片B用> 固定片B (1個) 木ねじ (φ6×40: 2本) 接着ブロック (1個) 接着ブロック注意書 (1枚) <small>※クラフト紙に印刷しており、接着ブロックを包んでいます。</small>	
		 皿木ねじ (φ5.8×63: 2本) 化粧キャップ (2個) 木ねじ (排水ソケット用) (φ6×60: 4本) <small>※排水ソケット用木ねじは、2本しか使用しません。</small>	

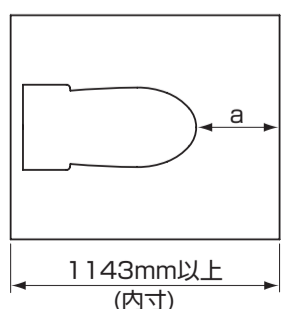
取り付け前のご注意

- 取り替え前の便器の排水心が305mm~380mmの範囲であることを確認してください。
- a寸法は標準400mmとなっておりますので、この寸法を確保できない場合は、狭くなることを事前にお客様にご了承いただいたうえ、設置願います。
- ドアの開閉に支障のないことをご確認ください。

1. 取替対応可能排水心寸法

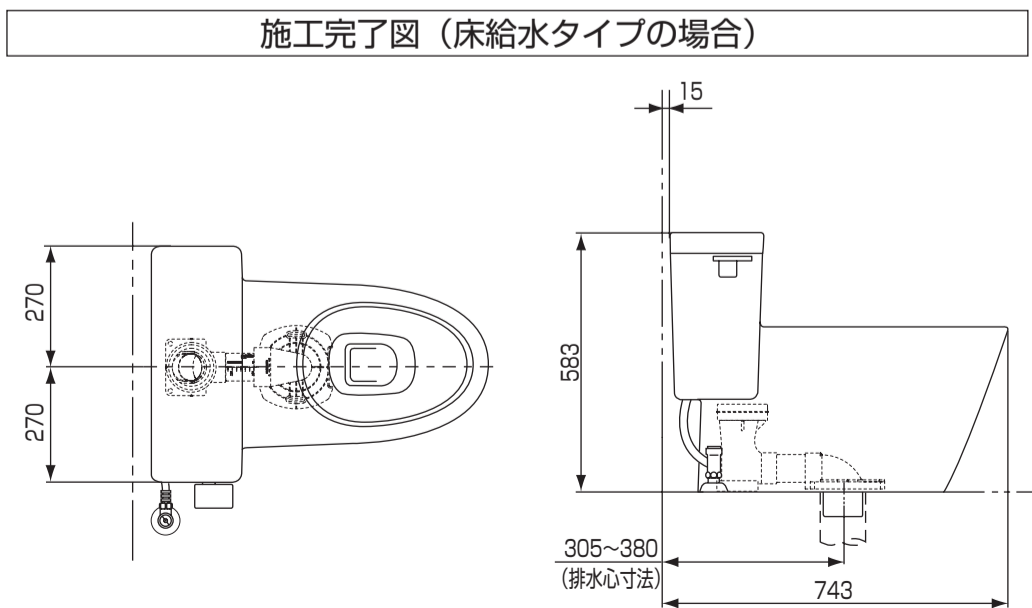
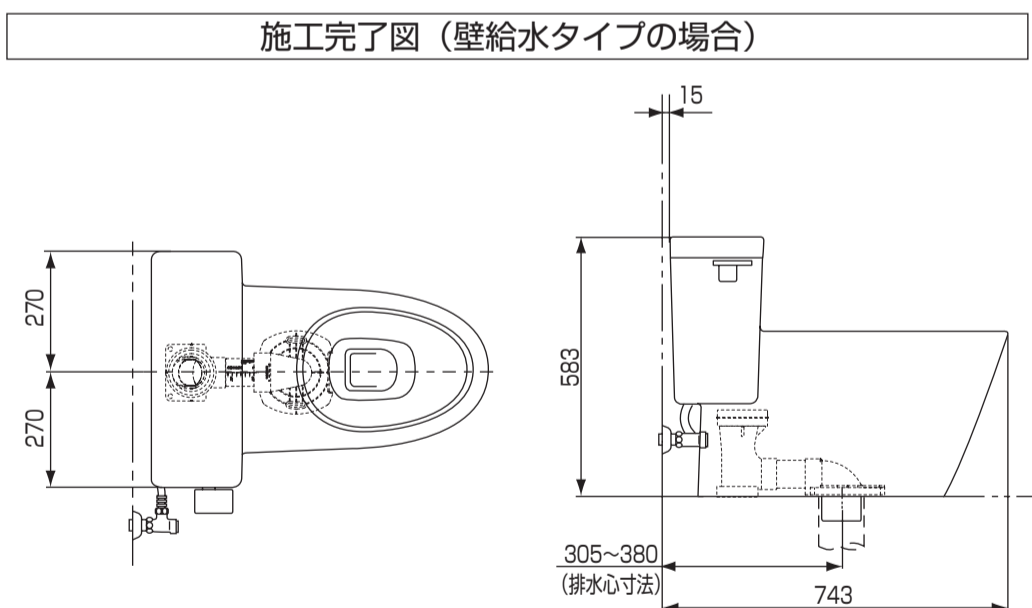


2. トイレブース奥行き必要寸法




商品セット図

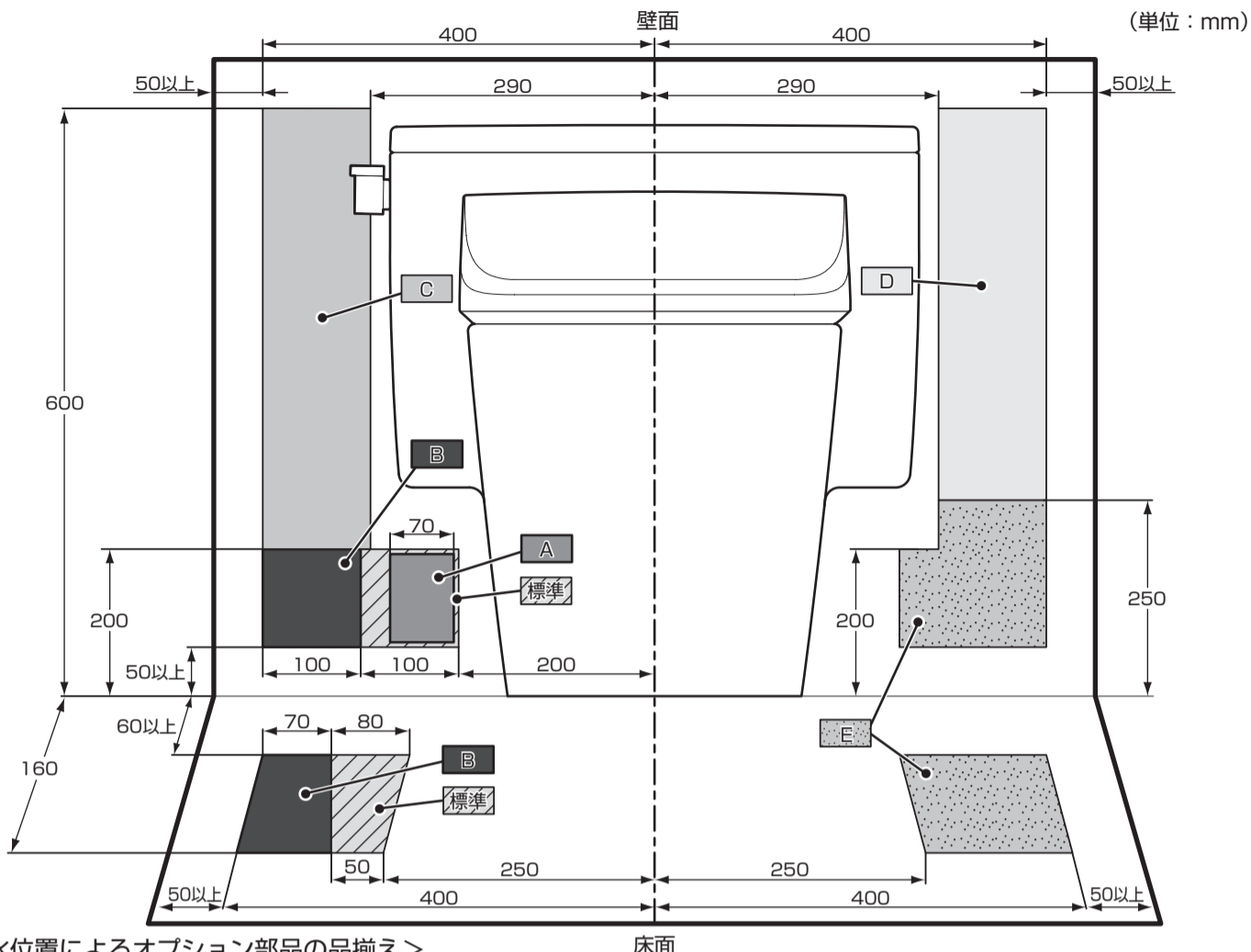
(単位: mm)







給水位置の確認

既設便器の給水位置を確認する。

※標準位置  以外の場合は、給水位置を変更していただくか、オプション部品を購入いただき、給水部材を接続してください。

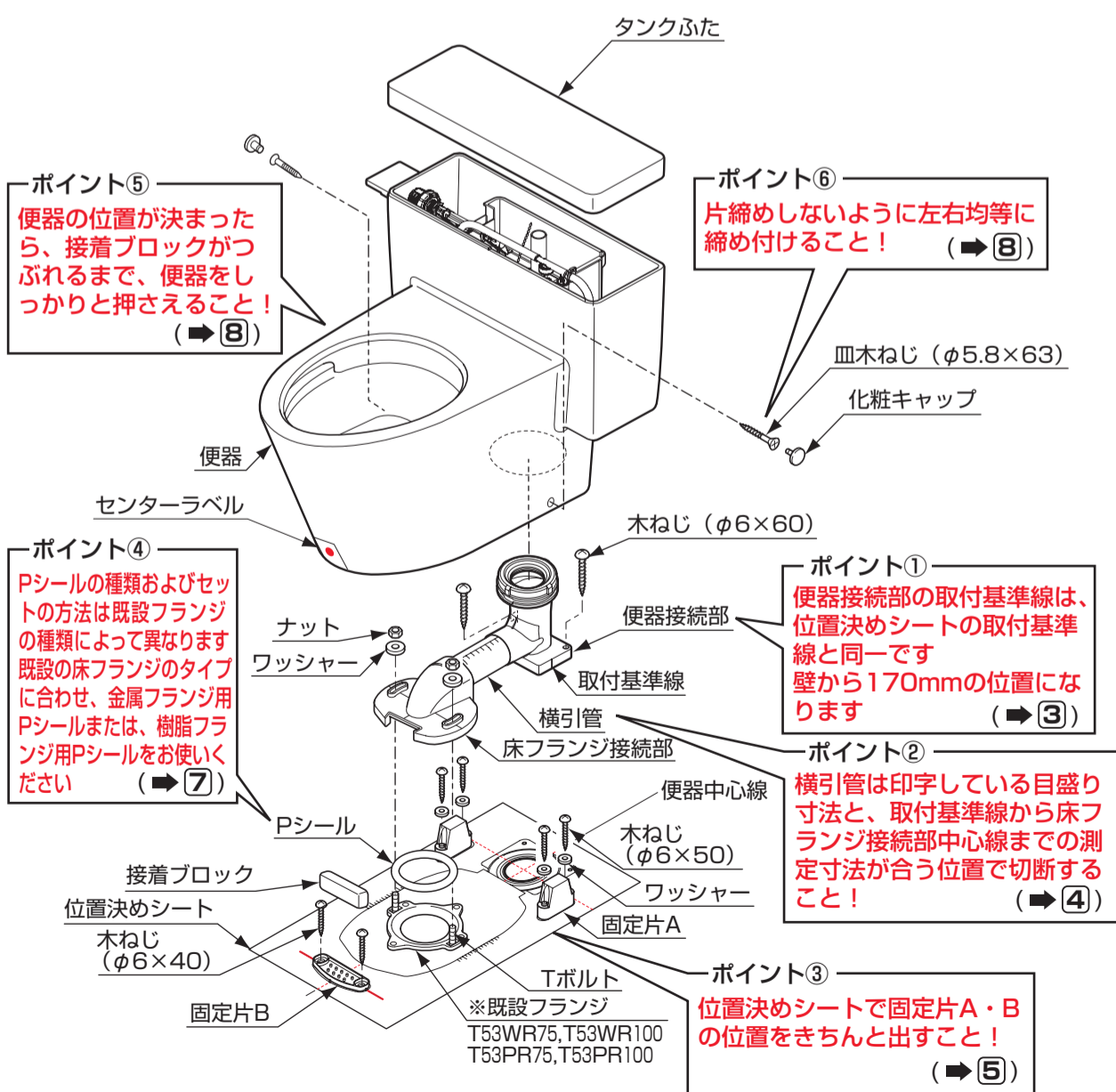


＜各給水位置によるオプション部品の品揃え＞

給水位置	オプション部品	品番	概図	備考	給水位置	オプション部品	品番	概図	備考
標準	不要	—	—	標準フレキホース到達範囲	C	給水金具セット	TN81-4X		左給水壁用
A	給水エルボ	TN48-1X		ウォシュレット分岐金具をご使用になる場合	D	給水金具セット	TN81-5X		右給水壁用
B	給水ホース(700mm)	TN98L×70		便器に設置のフレキホースを交換	E	給水金具セット	TN81-6X		右給水壁、床用

※オプション部品を使用される場合は、オプション部品に同梱の施工説明書を参照してください。

各部のなまえと施工のポイント



取付方法

1 既設便器の取り外し

既設の便器を取り外し、Pシールをきれいに取り除く。その後、既設フランジ中心線を床にけがく。

2 止水栓の取り替え

(※オプション部品を使用される場合は、オプション部品に同梱の施工説明書を参照してください。)

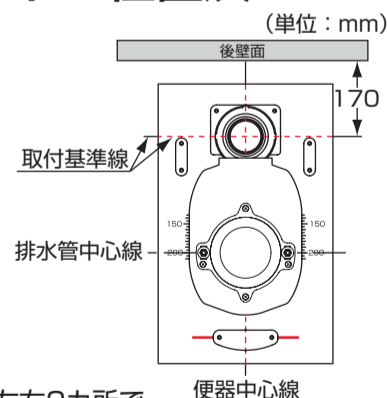
既設の止水栓を取り外し、付属の専用止水栓を取り付ける。※ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。

3 位置決めシート の位置決め

①排水管の中心を出して、床面に排水管中心線をけがく。

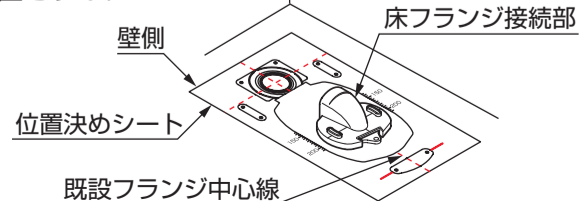
②後壁面から170mmの位置に取付基準線をけがき、その線に位置決めシートに示した取付基準線が合うようにして位置決めシートを置く。

※取付基準線の位置決めは左右2カ所で行ってください。



4 横引き管の切断

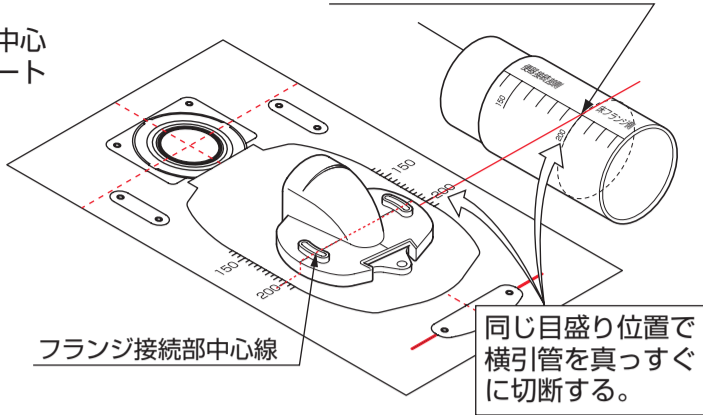
①床フランジ接続部を既設フランジの中心に合わせて仮置きする。



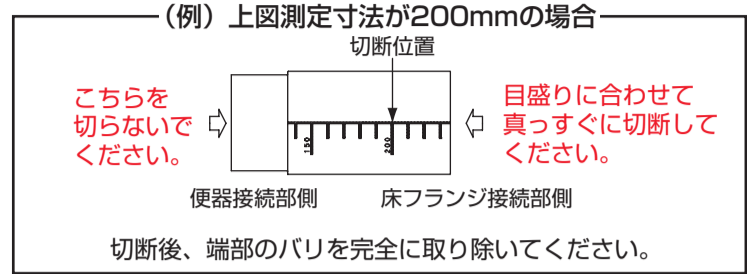
4 横引き管の切断 (つづき)

床フランジ中心線と床フランジ
接続部中心線を合わせる

- 床フランジ接続部の中心線が示す位置決めシートの値を読む。

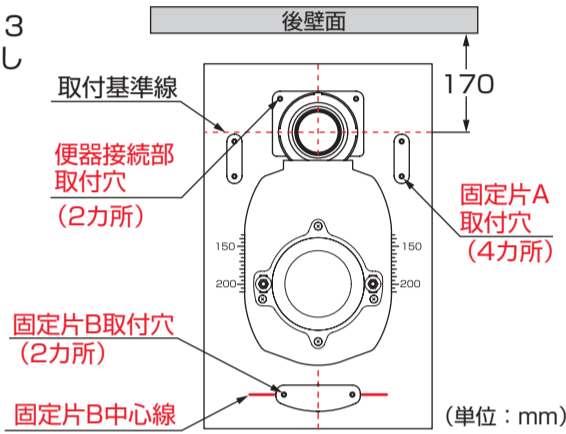


- 値と同じ目盛りで横引管をカットする。
135mmの場合、横引管は不要です。
(便器接続部と床フランジ接続部を直接つないでください)

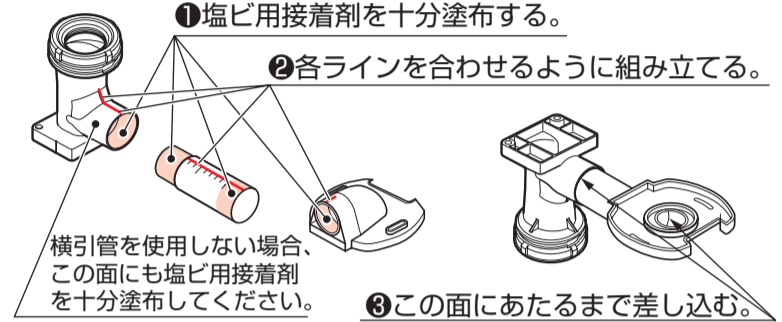


5 位置決めシートにて取付穴位置をけがく

- 便器接続部取付穴位置と固定片A・Bの取付穴位置をけがく。
 - 固定片Bの中心線をけがく。
- ※床に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



6 排水アジャスターの組み立て



注意



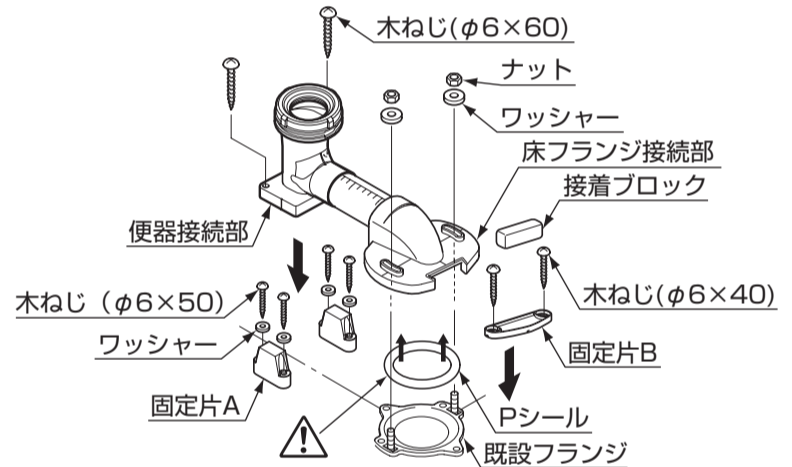
必ず実行

横引管は最後まで、きちんと押し込む
接着が不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。

床面に対してガタツキがないように接着する
ガタツキが大きいと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。

7 固定片・排水アジャスターの取り付け

- 〈樹脂フランジの場合〉Pシール(樹脂フランジ用)をフランジにセットする。
〈金属フランジの場合〉Pシール(金属フランジ用)を排水アジャスターにセットする。
- 排水アジャスターを既設フランジに押し付けてから、便器接続部の取付穴(2カ所)に木ねじを入れ、確実に締める。
- 床フランジ接続部を、ワッシャー・ナットで既設フランジに固定する。
- 固定片A・Bを所定の位置に、木ねじにて固定する。
※壁側は固定片A(2カ所)、前側は固定片B(1カ所)となります。
- 固定片Bは、図のように接着ブロックを固定片Bの凹部のピンに差し込み、その後指で軽く押す。
- 接着ブロックの上に付属の注意書(クラフト紙)をかぶせる。
※印字のないツルツルの面を下向きにしてください。



注意

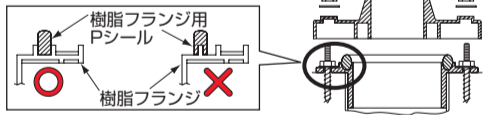
Pシール取り扱い上の注意

- 既設の床フランジのタイプに合わせ、金属フランジ用Pシールまたは、樹脂フランジ用Pシールを使用する
- 既設のフランジタイプによって、Pシールの取付方法が異なるので注意する

Pシールを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

(樹脂フランジ用)

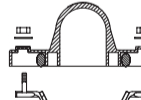
Pシールは必ずフランジ側にセットしてから、排水ソケットを上から押し付けてください。



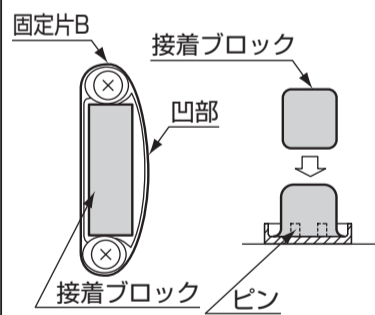
Pシールは溝にきちんと取り付けてください。

(金属フランジ用)

Pシールは必ず床フランジ接続部(排水アジャスター)にはめてから、フランジに押し付けてください。



<接着ブロックについて>



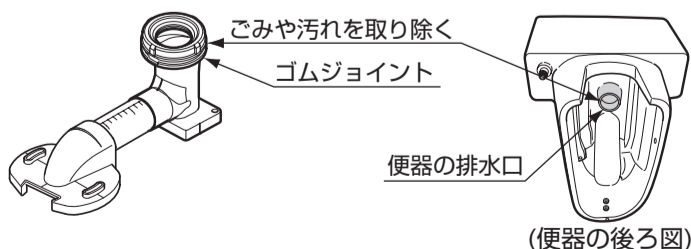
- ※施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を左図のように整えてください。
- ※接着ブロックの方向性は特にありません。
- ※気温が下がると接着ブロックが固くなる場合がありますので、このときは、20~30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。

※詳細は、接着ブロックに付属の注意書を参照ください。

8 便器の取り付け

手順1

- 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水ソケットに差し込む。
※便器の持ちかたは右図を参考にしてください。

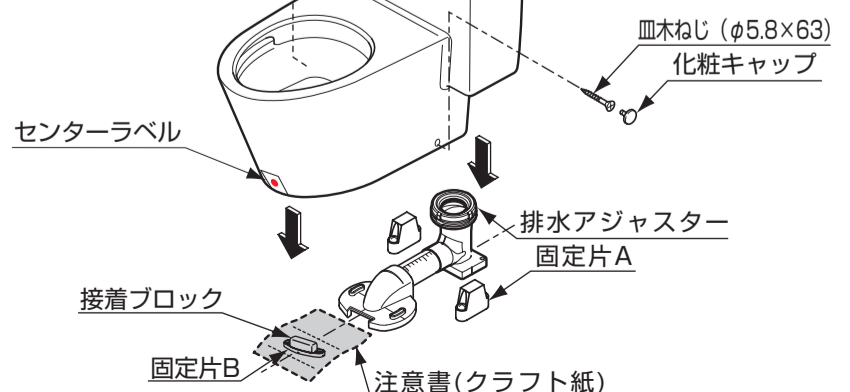


- センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。
- 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。
- 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかり押しさえる。
- センターラベルをはがす。



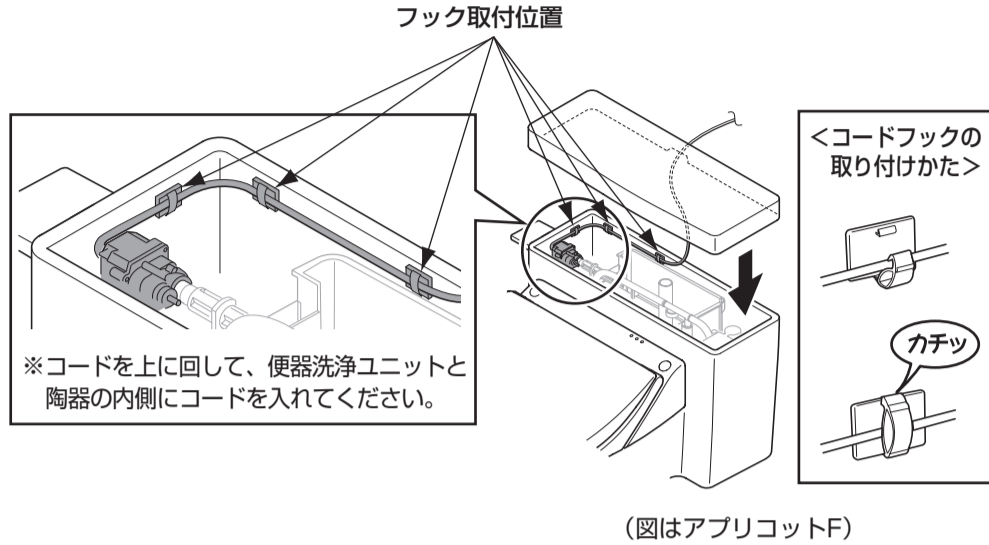
手順2

便器側面の取付穴に皿木ねじをねじ込み、ねじの頭に化粧キャップを差し込む。左右均等に締め、最後の増し締めは手締めにて行い、便器を割らないように注意してください。



9 コードフックの取り付けとコードの配線

- ①コードフックを貼り付ける。
※水滴をふき取り、付属のサンドペーパーでこすり、水につかない位置に貼り付けてください。
- ②コードはふたの切り欠き部とタンクの下側を通して配線する。
※コードをふたでつぶさないようにしてください。



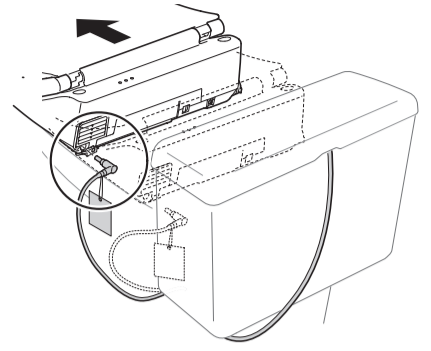
(図はアプリコットF)

<タンク内側>

- 注意**
タンク内側のコードが同梱部品に引っ掛からないように、コードフックを使って配線してください。
コードが同梱部品に引っ掛かると、止水不良の原因となるおそれがあります。

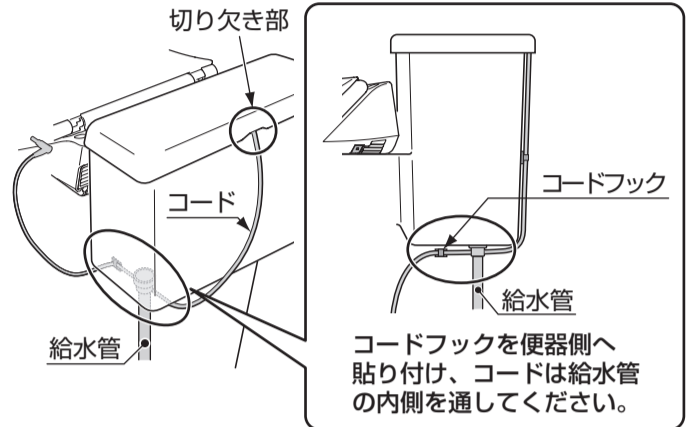
<タンク外側>

- 注意**
タンク外側のコードはウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。



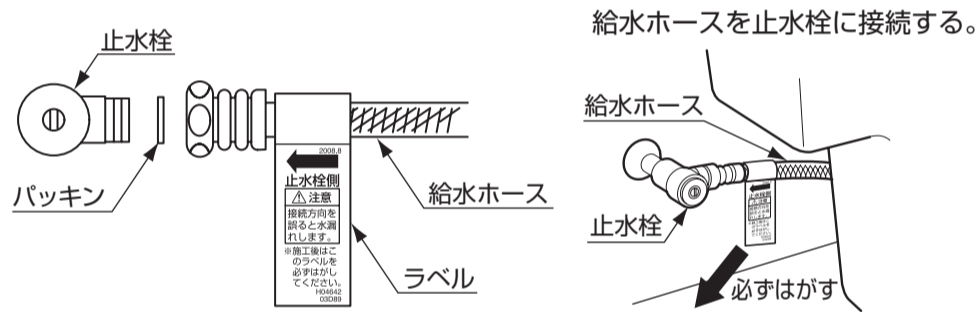
<タンク外側>

- 注意**
タンク外側のコードはウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。



10 給水ホースの取り付け (普通便座の場合)

- ・給水ホースにねじれ、折れなどのないよう接続する。
- ・パッキンを下図の位置に必ず組み込む。



- ※ラベルは給水ホースを取り付けたあとに必ずはがしてください。
※ウォシュレットの取り付けに関しては、ウォシュレット付属の施工説明書をご覧ください。

11 止水位の確認

ウォーターライン (WL) に止水位が合っているかを確認する。
(右図参照)

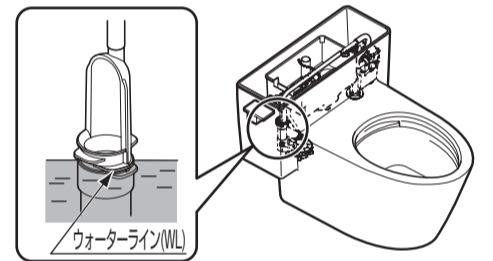
- ※ウォーターライン(WL)は、
下から2番目です。

合っていない場合は、
プラスドライバーで浮玉用タンクの高さを調整して、止水位を調整してください。

右回し・・・浮玉用タンクが上がり、
止水位が上がります。

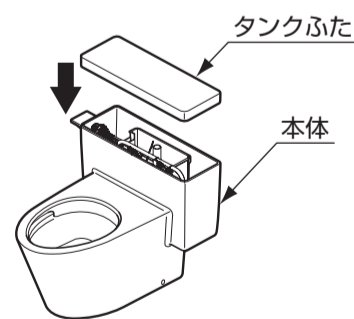
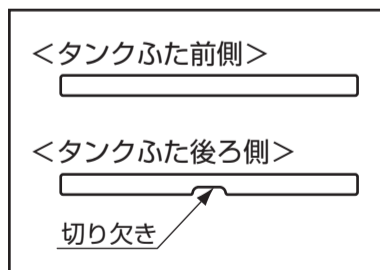
左回し・・・浮玉用タンクが下がり、
止水位下がります。

- ※1回転で約3mm上下します。



12 タンクふたの取り付け

- タンクふたを取り付ける。
※前後方向に注意してください。
(中央部に切り欠きがある方が後ろになります)



取り付け後の確認

- ・試運転 (洗浄) 後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・陶器表面に傷などがいないことを確認してください。
陶器表面に金属類 (時計のバンド、ベルトのバックルなど) が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。
スジ状の跡が付いた場合は、研磨剤入りの洗剤などで軽くこすって除去してください。
- ・施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ (コーキング剤、配管用接着剤など) の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤 (研磨剤なし) を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング (木質系) を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング (木質系) を使用される場合は、便器裾下部周囲に防カビ性の透明シリコン系シーリング剤を塗布することをおすすめします。

